

# SSHCONニュース

第91号 発行日：令和7年9月19日

(一社) 日本労働安全衛生コンサルタント会埼玉支部

- ・TEL 048-649-8617
- ・Fax 048-649-8618
- ・〒 330-0804 さいたま市大宮区堀の内町1-116-1 安藤ビル3F
- ・支部 URL <http://jashcon-saitama.com/>



上の写真は、行田市にある「古代蓮の里」公園で撮った花蓮です。行田蓮(古代蓮)をはじめとする42種類、約12万株の蓮が植えられています。6月中旬から8月上旬にかけて見頃と言われています。

気象庁の発表によれば、今年の日本の夏(6月～8月)の平均気温は、統計を開始した1898年以降の夏として1位の高温となったそうです。秋涼が待ち遠しい今日この頃ですが、お体には十分お気をつけください。

会員皆様のますますのご活躍をご祈念いたします。

(事務局広報部)

## ニュースの主な内容

1. 通常総会報告	.....	2
2. 研修部だより	.....	4
3. 日本労働安全衛生コンサルタント会本部「功績賞」受賞に寄せて	..	7
4. 事業部会への新入会員のお知らせ	.....	8
5. 最近の報道より	.....	9

## 1. 通常総会報告

令和7年度（第35回）通常総会が、令和7年6月13日（金）浦和コミュニティーセンター第14集会室に於いて開催されました。

出席会員数は会28名、委任状25名、合計53名でした（正会員数は92名）。

来賓として、埼玉労働局労働基準部健康安全課長の川又裕子様、一般社団法人埼玉労働基準協会連合会の星野定美専務理事、独立行政法人労働者健康安全機構埼玉産業保健総合支援センターの武田昌代副所長が列席され、祝辞を賜りました。

上程された第1号議案（令和6年度事業報告）について中澤支部長、井上事業部会長、小北事務局長から説明があり、第2号議案（令和6年度決算報告及び監査結果報告）について田中会計部長、正源司監事から議案書に沿った報告がありました。支部規約第19条により、第1号議案、第2号議案の採決は行わず、この内容で本部に報告し、本部の総会で全支部を含めた一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会としての採決を行う旨、中澤支部長から説明がありました。

第3号議案（令和7年度事業計画（案））、第4号議案（令和7年度予算（案））について中澤支部長、井上事業部会長、小北事務局長から説明がありました。質疑応答の結果、第3号議案、第4号議案の変更は不要と判断し、この二つの（案）の文字を削除して本部に報告する旨、中澤支部長から説明がありました。





総会後の懇親会の様子（はなの舞 浦和東口店）

## 2. 研修部だより

埼玉支部研修部会主催の定期研修会（第 136 回）を令和 7 年 7 月 18 日にハイブリット形式（市民会館おおみや + Zoom 利用）で開催しました。

出席者は会場 16 名、リモートからは 4 名で、研修会テーマと講師は以下のとおりです。

- 講演テーマ 「あるファインケミカル製品製造工場における労働災害と災害撲滅活動」  
講師：労働安全衛生コンサルタント会 埼玉支部会員 伊藤 博英 講師

- 講演テーマ 「鋼橋架設と安全衛生」  
講師：労働安全衛生コンサルタント会 埼玉支部会員 清杉 瞳雄 講師

- (周知) 説明 「著作権侵害に関して」  
講師：埼玉支部 中澤支部長

今回の研修会の会場は「市民会館おおみや」の集会室を使用しました。

伊藤講師からは、出向先のファインケミカルメーカーで発生した化学物質による労働災害の実例 4 件について詳細の説明がなされ、会社の特徴を生かした安全管理体制の再構築に取り組んだ事例が紹介されました。

清杉講師からは、鋼橋とその架設工法についての基本的な説明から、鋼橋架設工事における事故事例について詳細な解説がありました。

中澤支部長からは、2025 年 6 月 23 日の支部長会議資料、石上弁護士の「著作権について」の資料を基に、著作権についての説明が行われました。

研修会終了後は、場所を居酒屋矢まとに移し、活発な情報交換が行われました。



第 136 回 定期研修会の様子



## 研修会後の情報交換会の様子（居酒屋矢まと）

### ＜今後の予定について＞

下記のとおり予定しています。

### (1) 定期研修会

- 2025年10月11日(土)

場所：市民会館おおみや・会場（6階 研修室 10）

(ア) 14:00~15:00

- 講師：(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会員 藍原知之 氏  
・「リスクアセスメントの課題」

(1) 15:10~16:10

- 講師：(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会員 牛澤浩一 氏  
・「研究所の安全衛生管理について」

• 2025 年 12 月 5 日 (金)

場所： 武藏浦和コミュニティセンター 第4集会室

(ア) 14:00~15:00

- 講師：元日立製作所 日立研究所、三重大学特任教授 堀場 達雄 氏  
・「電池とその安全性」（仮称）

$$(1) \quad 15 \cdot 10 \approx 16 \cdot 10$$

- 講師：(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会会員 山田謙二 氏  
・「世界の機械安全化の情報・トンネル関連の安全管理」(仮称)

(2) 埼玉支部工場見学会について

11月21日（金）にビール工場見学会を予定しています。

参加申し込みをお願いいたします。

(3) 連絡事項

① 研修会について、参加希望者は研修部長真崎まで連絡願います。

② 真崎へのメール連絡は以下のとおりです。

<真崎メールアドレス：[tyushotasuku2@gmail.com](mailto:tyushotasuku2@gmail.com)>

③ 生涯学習制度に参加の方は2.5CPDをご加算ください。

④ 講習会参加費は無料です。

(真崎研修部長)

### 3. 日本労働安全衛生コンサルタント会本部「功績賞」受賞に寄せて 埼玉支部 副支部長 堀江 成治



この度は会長功績賞をいただき誠にありがとうございます。推薦していただきました埼玉支部の皆様には入会時よりご指導・ご支援をいただき、そのお陰でコンサルタントとしての仕事を続けてこられましたことを心より感謝いたします。

コンサルタント業を始めた頃は、これから仕事があるのか、個人事業主として何をすればよいのかと不安な日々でしたが、埼玉支部の研修会に初めて参加したときに諸先輩から温かいお言葉をかけていただいたことが大きな励みとなりましたことを今でもよく覚えております。それから支部活動に参加させてもらい、またお仕事を紹介いただきながら一歩一歩コンサルタントの道を歩んでまいりました。

そうした中で、会社勤めのときには想像もできなかった異業種の会社や団体の方々と仕事を通じて知り合うことができましたことが何よりの喜びとなっております。

労働衛生では、化学物質の自律的管理への移行、温暖化による気温上昇の進む中での熱中症予防対策、人生100年時代に向けての高年齢労働者の安全と健康の確保等の大きな課題があります。身体の衰えを感じつつ現場の作業環境改善のお手伝いを限られた範囲となりますますが続けていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞご指導・ご支援のほどよろしくお願ひいたします。



## 4. 事業部会員への新入会員のお知らせ

	氏名	遠藤 潔
	種類 登録番号	安全 土 第 4718 号
事務所名称及び住所を記載： 遠藤労働安全コンサルタント事務所 〒335-0022 埼玉県戸田市上戸田 4-2-27-902 E-mail: endoc2ss@gaea.ocn.ne.jp TEL・FAX 048-291-8965 携帯 090-1408-0004		
資格・その他		
1 級土木施工管理技士、1 級舗装施工管理技術者、2 級建築施工管理技士(仕上げ)、 技術士第一次試験合格、指定建設業監理技術者、職長・安全衛生責任者教育、 危険物取扱者(乙4)、フォークリフト、小型移動式クレーン、玉掛け技能講習修了、		
専門事項 特許 著書その他特筆すべき事項		
土木安全、舗装安全、防水安全、健康 KY、リスクアセスメント、危険物保安管理者 ・新入社員教育の支援 ・現場技術者に対する指導監督の業務支援 ・安全衛生管理及び労働災害防止の業務支援		
その他備考		
私は、工業高校卒業後、道路舗装会社に 43 年間勤務してまいりました。転勤が多く東北地方から九州まで担当し、現場代理人や主任技術者を長く勤めてきました。近年では、地球温暖化対策の一環として、都内において、保水性舗装や遮熱性舗装の施工に携わり東京オリンピックのマラソンコースの遮熱性舗装を一部担当しました。 長年の現場経験を活かし、現場で働く作業員の安全を確保する活動を行っていきたいと思います。		

## 5. 最近の報道より

■厚生労働省その他の動き（気になる情報の抜粋）

月日	表題	概要
令和7年 5月30日	厚生労働省 令和6年の労働災害発生状況を 公表	死亡者数は過去最少、休業4日以上の死傷者数は4年連続で増加 <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_58198.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_58198.html</a>
6月5日	厚生労働省 労働安全衛生規則及び電離放射 線障害防止規則の一部を改正す る省令案	改正案の概要 (1) 工業用等の特定エックス線装置の自動警報装 置の設置義務の拡大及び安全装置の設置義務 化並びに医療用の特定エックス線装置の操作 室設置義務化等 (2) エックス線作業主任者及びガンマ線透過写真 撮影作業主任者の職務の見直し (3) 特別教育の実施対象となる業務の変更 <a href="https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&amp;id=495240219&amp;Mode=0">https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&amp;id=495240219&amp;Mode=0</a>
6月17日	総務省消防庁 作業中の防火管理に対する注意 喚起について	東京都内で、溶断作業中に発生した火花が建物外壁 に沿って立ち上がっている状態において使用され ていたアスベストの飛散を防止するプラスチック シートに着火し、階をまたいで延焼する火災が発生 したことから、アスベストの飛散を防止するプラス チックシートについて、例として、難燃性を有する ものを使用する、火花を発する作業場所での使用を 避けるなど火災予防上必要な措置を講じるよう注 意喚起している。 <a href="https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/65d014c3a171654e72aa46855b46d288f2218c03.pdf">https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/65d014c3a171654e72aa46855b46d288f2218c03.pdf</a>
6月20日	厚生労働省 「令和6年度 石綿による疾病 に関する労災保険給付などの請 求・決定状況まとめ（速報値）」 を公表	<p>■労災保険給付</p> <p>令和6年度の請求件数は1,529件（石綿肺を除く）、決定件数は1,348件（同、うち支給決定件数は1,139件）で、請求件数は昨年度と比べ増加、決 定件数は昨年度と比べやや増加、支給決定件数は昨 年度と比べやや減少した。</p> <p>■特別遺族給付金</p> <p>令和6年度の請求件数は378件で、決定件数は 343件（うち支給決定件数は240件）で、請求件数・ 決定件数・支給決定件数いずれも昨年度と比べ増加</p>

		した。 <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_58868.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_58868.html</a>
6月25日	農林水産省 農産局 事務連絡	農作業中の熱中症対策の更なる徹底について <a href="https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/attach/pdf/nechu-85.pdf">https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/attach/pdf/nechu-85.pdf</a> 令和7年度 熱中症対策研修テキスト <a href="https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/nettyu_text.pdf">https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/nettyu_text.pdf</a> 熱中症対策パンフレット <a href="https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/attach/pdf/nechu-25.pdf">https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/attach/pdf/nechu-25.pdf</a>
6月25日	厚生労働省 令和6年度「過労死等の労災補償状況」を公表	精神障害の労災補償状況で、請求件数と支給決定件数が過去最多を更新した。請求件数は3780件と前年度比200件以上の増加、支給決定件数は1055件と同170件以上の増加と大幅に伸びている。業種別では、請求件数、支給決定件数とともに「医療、福祉」「製造業」「卸売業、小売業」の順に多かった。出来事別の支給決定件数の傾向をみると、パワーハラスメントが最も多い一方で、カスタマーハラスメントによるものも前年比で倍増しており、3番目に高い出来事になっている。 <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_59039.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_59039.html</a>
7月7日	厚生労働省 事務連絡 工作物の事前調査における調査者制度等の周知について（依頼）	一部の工作物について、令和8年1月1日以降着工の工事から、工作物石綿事前調査者等に事前調査を行わせることが事業者に義務付けられます <a href="https://jsite.mhlw.go.jp/niigata-roundoukyoku/content/contents/R070707_10_kousakubutsu_jizentyouasyaseido.pdf">https://jsite.mhlw.go.jp/niigata-roundoukyoku/content/contents/R070707_10_kousakubutsu_jizentyouasyaseido.pdf</a>
7月14日	秋田県 提言書 安全な下水管路作業のために～酸素欠乏・硫化水素中毒事故を二度と繰り返さない～	令和7年3月7日に男鹿市脇本樽沢地内で発生した工事事故を受け設置した「秋田県下水管路補修工事での事故を踏まえた安全対策検討委員会」において、事故の原因を分析し、再発防止策について議論を進め、提言書が取りまとめられた。 <a href="https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/90372">https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/90372</a>
7月14日	一般社団法人仮設工業会 現場の安全性と生産性向上を目的とした、ヒヤリ・GJ（グッジョブ）報告アプリ KATEOTOS（カ特斯）の運用を開始	KATEOTOSは、ヒヤリハットを「災害の芽」ではなく、「事故をリカバリーできた成功体験」＝「糧(かて)」と再定義し、「ヒヤリハット」から事故に至らず災害を回避できた体験者の知恵や対処方法を、「グッジョブ」から安全かつ効率的に仕事ができるアイデ

		<p>アや暗黙知を、自発的に現場従事者から得る下意上達のシステム</p> <p><a href="https://katetos.kasetsu-digital.com/#Key-Features">https://katetos.kasetsu-digital.com/#Key-Features</a></p>
7月29日	一般社団法人 住宅生産団体連合会 令和6年 低層住宅の労働災害 発生状況報告書	<p>労働災害発生件数（絶対数）を見ると、完工棟数の合計が 118,740 棟減少（前年比 72%）したことにより、数値上は全体として 85 件減少（前年比 78%）となった。内訳は新築工事で 80 件減少（前年比 77%）、増改築・リフォーム工事で 5 件減少（前年比 79%）、解体工事で同件数（前年比 100%）となっている。また、労働災害発生件数（1000 棟当たり）を見ると、全体として前年比 108% の増加で、内訳は新築工事で前年比 115% の増加、増改築・リフォーム工事で前年比 113% の増加、解体工事で前年比 130% の増加となり、相対的な災害発生率は上昇している。</p> <p><a href="https://www.judanren.or.jp/activity/proposal-activity/report04/index.html">https://www.judanren.or.jp/activity/proposal-activity/report04/index.html</a></p>
8月1日	厚生労働省 埼玉労働局 「転びま宣言！埼玉」を実施します	<p>県内各事業場が積極的に一丸となって転倒労働災害防止、減少に向けた取り組みを行うことを目的とし、①埼玉労働局のホームページで参加表明をする。②宣言証をダウンロードし必要事項を記入して、事業場内に掲示する。③事業場ごとに取組を行う。④宣言から 6 カ月経過後に取組状況のアンケートに回答するというもの。</p> <p><a href="https://jsite.mhlw.go.jp/saitama-rooudoukyoku/content/contents/002331024.pdf">https://jsite.mhlw.go.jp/saitama-rooudoukyoku/content/contents/002331024.pdf</a></p>
8月21日	国土交通省 「荷役作業の効率化のための 「標準仕様パレット」の利用促進支援事業費補助金」の公募について	<p>荷主・物流事業者等が標準仕様パレットを導入し、荷役作業の効率化、物流改善に取り組む事業に対し補助を行う（補助率 1/2、上限あり）。</p> <p><a href="https://pacific-hojo.com/pallet/">https://pacific-hojo.com/pallet/</a></p>

次号は令和8年1月中旬頃発行予定です。皆様よりの情報提供を期待しています。  
 また、コンサルタント事例としての経験談（成功談でも失敗談でも）を募集しています。  
 それ以外の内容でも大歓迎です。寄稿をお待ちしています。

- ・今回のSSHCONニュースに対するご感想・意見等をお寄せ下さい。
- ・みなさんがお持ちの情報、写真等で会員のみなさんに提供したいものがありましたら、連絡下さいますようお願い致します。